

事例に関してよくあるお問い合わせについて

Q1. 事例の記入は手書きでもかまいませんか。

A1. 手書きで記入していただいてもかまいません。ただし、所定の書式にご記入ください。

Q2. 施設等で介護支援専門員をしており、居宅サービス計画書をたてていません。

A2. 施設サービス計画書を事例としてとりあげていただいても結構です。

Q3. 所定の書式を使用しないといけないですか。

A3. 所定の書式を使用してください。

ただし、各自が使用されている「居宅（施設）サービス計画書」「週間サービス計画表」「サービス担当者会議の要点」または「介護予防・介護予防ケアマネジメント経過記録（サービス担当者会議の要点を含む）」については、項目が同じである場合（欠如している項目がない場合）のみ、ご使用いただくことは可能です。

（個人が特定できないよう必ずマスキングしてください）

Q4. 申込み時に選択した項目を別の項目に変更できますか。

A4. 申込み時に選択された A～Gの選択項目（2つ以上）については変更できません。

Q5. 選択した A～G の項目の内容を確認したいのですが。

A5. 研修申込書に同封されていた一覧です。下記にてご確認ください。

項目	科目	キーワード例
A	リハビリテーション及び福祉用具の活用に関する事例	筋力低下改善・日常運動の強化・リハビリテーション実施・住宅改修・福祉用具利用・外出支援・高齢者の外出先の開発・外出時の休息やトイレについて・機能強化ロボット使用等
B	看取り等における看護サービスの活用に関する事例	痛みの改善の取組・生活機能低下における対応・死の受容に関する事・緩和療法・葬儀に関する相談対応・遺品に関する相談対応・生きがいの実現・看護サービス利用について 等
C	認知症に関する事例	初期診断に関する対応・地域ネットワーク構築・認知症の理解・環境変化における対応・行動障がいの取組・認知症治療に関する事・精神疾患における医学的・心理的な状況 等
D	入退院時等における医療との連携に関する事例	医療チームへの伝達・介護チームへの伝達・説明責任・難病の取組・医療の活用・入院における介護負担に関する事・入退所におけるコンプライアンスに関する事・高齢者に多い入院を伴う疾患・感染症 等
E	家族への支援の視点が必要な事例	家族に疾患がある場合の対応・利用者と家族の受け止め方が違う場合の対応・家族が本人の生活機能に強く影響する場合の対応・家族間の関係性を対応した 等
F	社会資源の活用に向けた関係機関との連携に関する事例	地域支援・社会資源と特徴と対応・社会資源との連携・社会資源介入と対応・地域特性と社会資源の関係・生活保護制度・成年後見制度利用・虐待事例 等
G	状態に応じた多様なサービス（地域密着サービスや施設サービス等）の活用に関する事例	住み替えの対応・生活機能促進、利用者の主体的な選択に関する対応・説明と同意に関する事・施設サービスの対応・地域密着サービスの対応・定期巡回・随時対応型訪問介護看護・複合型サービス・小規模多機能居宅介護活用 等